

コジェネ単体も対象

コジェネ・電熱融通インフラ(送電線・熱導管等)への助成

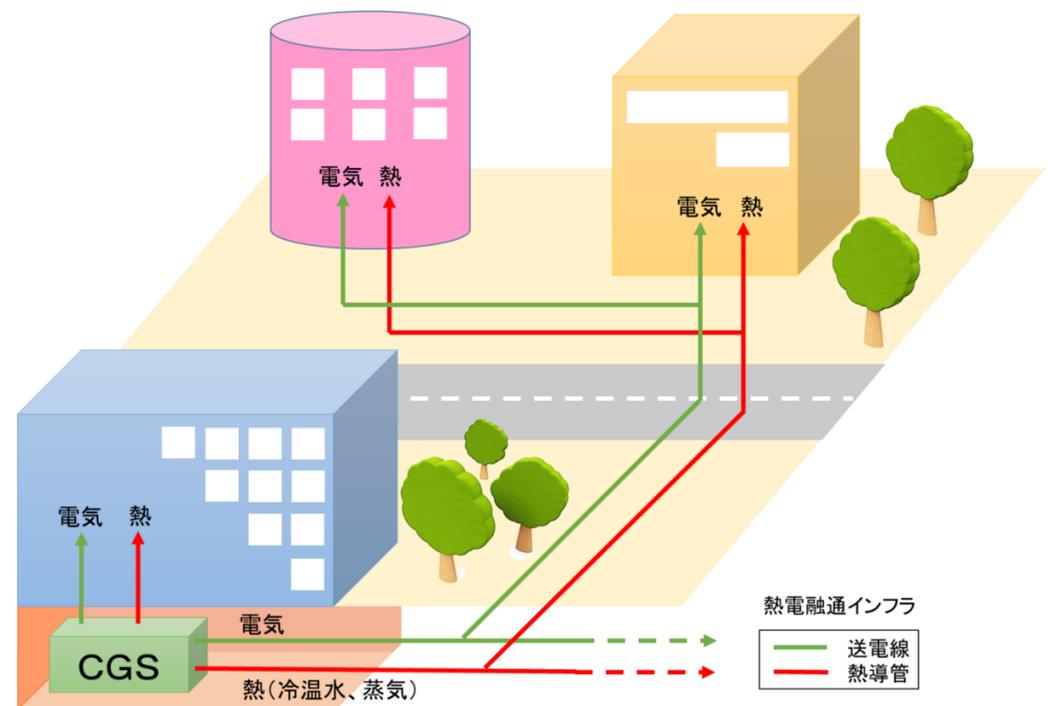
(東京都：スマートエネルギーエリア形成推進事業)

都内の建築物を対象に、コージェネレーションシステム又は熱電融通インフラ(送電線・熱導管等)の設置に対して、エネルギーマネジメントを実施し、デマンドレスポンスの実行を可能にする体制を構築することなどを条件に、その経費の一部を助成し、エネルギー利用の効率化を推進します。

助成対象事業者

コージェネレーションシステム(以下「CGS」)又は熱電融通インフラを設置しようとする民間事業者が対象となります。

※ビル所有者、熱電供給事業者、ESCO事業者及びリース事業者の他に、ビル1棟を全棟借りしたテナント(ビル所有者の同意書が必要)も、助成対象事業者として申請可能です。



※ 熱電融通インフラは街区を挟まない場合でも補助対象となります。

助成事業の主な要件

CGSからの熱又は電力の供給を受ける建築物において、エネルギーマネジメントを実施し、デマンドレスポンスを実行可能にする体制を構築するものとします。

○ CGSについて

- 使用する燃料は、天然ガスを主原料とするものとします。
- 発電出力の合計が50kW以上であるものとします。
※発電出力が供給対象建築物の最大電力需要の10%以上であること。
- 高効率なCGSと認められるものとします。
※1台当たりの発電出力が30kW以上の場合、次の条件を満たすこと。
 $2.17 \times \text{発電効率}(\%) + \text{排熱利用率}(\%) > 87(\%)$
- 災害時等に系統電力が途絶えた場合において、自立運転が可能な機能を有するものとします。

○ 熱電融通インフラについて

- CGSを設置する建築物と接続するもの、又は熱電エネルギーを事業所単体消費から面的に融通することを可能にするものとします。



クール・ネット東京

<<お問合せ>>

公益財団法人 東京都環境公社
東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)

住所 〒163-0810 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル10階

TEL 03-5990-5085 FAX 03-6279-4697

URL <https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/smartenergy/>

助成対象設備・助成額（設計費・設備費及び工事費を含む）

助成対象設備	都の助成額(助成率)
CGS (熱電融通インフラと新たに接続する場合)	CGSの設置に要する経費の1/2以内 ※ 上限額は4億円（国の補助制度と併用する場合の上限額は1.33億円） ※ 国の補助制度と併用する場合は、経費の1/2から国の補助金を控除した額又は対象経費の1/6のうちいずれか低い額 ※ 熱電融通インフラと併用可能
CGS (CGSのみ設置する場合)	CGSの設置に要する経費の1/4以内 ※ 上限額は1億円（国の補助制度と併用する場合の上限額は0.67億円） ※ 国の補助制度と併用する場合は、経費の1/2から国の補助金を控除した額又は対象経費の1/6のうちいずれか低い額
熱電融通インフラ	熱電融通インフラの設置に要する経費の1/2以内 ※ 上限額は1億円（国の補助制度と併用する場合の上限額は0.33億円） ※ 国の補助制度と併用する場合は、経費の2/3から国の補助金を控除した額又は対象経費の1/6のうちいずれか低い額

事業実施年度・助成総額

- ・ 2015年度～2019年度の期間において、助成金申請を受け付けます。★本年度で終了です★
- ・ 工事については、2021年12月28日までに完了するものが助成対象となります。
- ・ 本助成金の交付に係る総予算額は55億円です。

助成事業の2019年度募集スケジュール

事業の流れ	日程
募集説明会	2019年9月20日(金)
申請期間	2019年9月20日(金)から2019年11月22日(金)まで ※ 申請書類一式について、事前相談を行った上で申請してください。
助成金交付審査	2020年1月上旬に交付決定予定
事業開始	交付決定の通知を受領した日から6か月以内に事業を開始してください。
工事完了 (実績報告書提出)	2021年12月28日までに工事を完了し実績報告書を提出してください。
効果検証報告	実績報告書を提出した年度の翌年度から毎年度(2年間)の実績を報告してください。